

令和 8 年 6 月 1 6 日

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会

議長 野村 昌広

学校関係者評価委員会は、令和 7 年度 自己点検・自己評価報告書に基づき、学校関係者による評価会議を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時

令和 8 年 6 月 1 6 日 (火)

2. 開催場所

名古屋理容美容専門学校 2 F

3. 学校関係者 (評価者)

野村 昌広	株式会社リジェール	代表取締役
山田 高敬	ドレスグループ	代表取締役
新家 節之	経営コンサルタント	代表取締役
古居 利雄	株式会社ハグエベック	代表取締役

4. 報告者

校長 榑原 晶恵

事務長 川口 清成

5. 会次第

- 1) 開会宣言
- 2) 議長 挨拶
- 3) 資料の確認
- 4) 委員の紹介
- 5) 自己評価結果報告
- 6) 評価結果・意見交換
- 7) 閉会宣言

6. 評価会議の概要

本校は、学校の質保証と向上を目指して「学校自己評価」を行っている。

具体的には、教職員等による「自己評価」と、「学生による学校満足度の調査」・「授業アンケートの集計」を行い、学校が抱える課題の明確化と改善を図っている。

本校では、この「自己評価」に加えて、組織的で継続的な教育活動の改善とキャリア教育の充実を一層図るため、外部の有識者に参加頂いた「学校関係者による評価会議」を開催し、指導・助言や提言を頂いている。

当日は、学校からの報告、評価会議の順に進めた。会議では、学校の特徴的な取組などを各担当から説明した後、評価者から意見、改善すべき点、提言等を伺った。

<学校関係者による意見、提言等>

【評価基準】 適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

(1) 教育理念・目標 評価結果：4

- ・教育理念・目的は入学前のオリエンテーション等による周知がなされており、教員の指導もそれに沿ったものになっている。
- ・教育理念・目標については、全ての項目で基準を満たしている。

(2) 学校運営 評価結果：4

- ・3月に事業計画を作成、学校運営、教育活動、就職活動等の運営方針を決めている。
- ・学校運営については、全ての項目の基準を満たしている。
- ・理・美容師の技能教育の養成施設として教育的・社会的使命を自覚している。
- ・学生の授業環境の整備、教職員の生活の安定と資質向上に努めている。

(3) 教育活動 評価結果：3

- ・理美容業界のトレンドは数カ月単位で変わるため、常にカリキュラムのアップデートをしていく。
- ・SNS を活用したセルフブランディングが学べるカリキュラムを作成する。

(4) 学修成果 評価結果：3

- ・国家試験合格については全員が合格できるよう昼間課程だけでなく、通信課程も対策を遂行していく。また、国家試験未取得者のフォローも同様に引き続き実施していく。

(5) 学生支援 評価結果：4

- ・理美容業界の高い初年度離職率への対策として、現場に入った際にギャップをなくするため、よりリアルなキャリア教育を求める。
- ・学生相談に関する体制は、整備されている。

(6) 教育環境 評価結果：4

- ・インターンシップは、学生が実務学習を知る機会となっている。
- ・学校で学んだ技術を、卒業後、長期に活躍できる人材を育成する。

(7) 学生の受入れ募集 評価結果：3

- ・SNS を活用しながら、スピード感を持ったスピード発信と、適格な教育成果を伝えて行きたい。

(8) 財務 評価結果：4

- ・ 予算・収支計画、会計監査は適正である。

(9) 法令等の遵守 評価結果：4

- ・ 法令等遵守をしており、適切に運営されている。
- ・ 個人情報の管理も引き続き適正にされている。

(10) 社会貢献・地域貢献 評価結果：4

- ・ 学校近隣地区の清掃活動などは継続して実施してほしい。
- ・ 高校などの職業体験や職業教育は、業界と学校の発展にも大きく関わる事であり、積極的に受け入れをお願いします。

7. 学校関係者による総評

令和7年度の名古屋理容美容専門学校の自己点検・自己評価報告を拝見し、各項目の詳細を委員にて点検しました。

修得者課程の開講以来、志願者の多くが理容師、美容師国家資格のW取得希望であることから、理容学科、美容学科の併設により、学生の将来の夢が広がる教育環境が整っていると実感します。

資格取得にだけに留まらず、理・美容業界としての在り方やマナーを身につけることが、卒業後の確実なキャリアアップにつながると考えております。

更なる飛躍のため、来年度も教育の質が上がることを期待いたします。